

平成26年度 自殺総合対策事業実施状況

自殺対策の基盤整備

自殺総合対策東京会議

～多様な主体の連携による社会的取組の推進基盤～

東京会議

平成27年3月20日開催

各分科会：社会全体で自殺対策を推進するための具体的方策を検討

・若年層対策分科会

第1回：平成26年7月14日開催、第2回：平成27年1月20日開催

・ハイリスク者等対策分科会

第1回：平成26年6月30日開催、第2回：平成26年12月25日開催

事前予防(一次予防)

「自殺防止！東京キャンペーンの実施」

自殺対策強化月間（9月、3月）

区市町村、保健所、民間団体と連携（取組事業の広報など）して実施

平成26年9月実施結果

電話相談 相談時間を延長するなどして実施

・こころの悩み相談

相談件数：561件

（東京都自殺相談ダイヤル 354件、東京自殺防止センター 207件）

・自死遺族相談

相談件数：38件

（全国自死遺族総合支援センター 11件、グリーフケア・サポートプラザ 27件）

特別相談の周知

電話相談のチラシ入りポケットティッシュの配布（JR新宿駅南口）

東京都自殺相談ダイヤルの周知

私鉄各駅でのポスター掲示、私鉄各線での車内広告掲出

講演会

平成26年9月10日開催（都民ホール）

テーマ「処方薬乱用と過量服薬の理解と対応」

平成27年3月

電話相談

特別相談の周知

電話相談のチラシ入りポケットティッシュの配布

東京都自殺相談ダイヤルの周知

私鉄各駅でのポスター掲示、私鉄各線での車内広告掲出



ポケットティッシュ用のチラシ

危機対応(二次予防)

ゲートキーパー養成事業

ゲートキーパー養成研修（レベルアップ研修）

・実施日及び内容等

平成26年6月4日 認知行動療法の手法を取り入れた研修（講義、演習、グループワーク）

平成26年7月2日 処方薬乱用と過量服薬の理解と対応（講義）、希死念慮のある人への対応（講義）

平成26年7月29日 若年層への支援（講義）、生きづらさに係る発達障害について（講義）

平成26年8月4日 自死遺族・自死遺児支援（講義、グループワーク）

・講師：各分野を専門とする、精神科医師、大学教授、民間団体等

・受講対象者：区市町村及び「こころといのちの相談・支援 東京ネットワーク」関係機関で相談業務等に関わるスタッフのうち、東京都及び区市町村主催のゲートキーパー養成研修を受講したことがある者

・受講者数：延べ 243人

職域ゲートキーパー養成研修（職場のメンタルヘルス対策セミナー）

・実施日、会場

平成26年10月6日（立川商工会議所）

平成26年10月28日（東京都健康プラザ ハイジア）

・内容：自殺対策の視点を踏まえて うつと復職支援

講師：都立中部総合精神保健センター副所長 井上 悟 氏
職場のメンタルヘルス対策について

講師：日本産業カウンセラー協会東京支部 山田 るり 氏

・受講対象者：中小企業の人事管理担当者、健康管理担当者等

・受講者数：134人（ 43人、 91人）

「出前」研修（東京都の担当が出向いて行うゲートキーパー研修）
都立看護専門学校、介護支援専門員研修 など

うつ診療充実強化研修

・都医師会に委託して実施（地区医師会単位等で研修会を開催）

・内容：自殺予防に関する知識、適切なうつ診療の知識と技術、精神科医師との連携方法、家族から悩みを聴く姿勢等

講師：精神科医師

・＜参考＞平成25年度受講者数：419人（18地区で開催）

こころといのちの相談・支援 東京ネットワーク

- ・自殺対策に係る関係機関により構成されたネットワーク
- ・リーフレット「こころといのちの相談・支援 東京ネットワーク 相談窓口一覧」にネットワーク機関を掲載し、区市町村やネットワークの各窓口にて配布
- ・ネットワーク会議の開催
自殺対策に係る情報交換・共有
平成26年9月10日 「自殺防止！東京キャンペーンの実施」講演会と同時開催
- ・内容：東京都からの報告事項、情報交換等

東京都自殺相談ダイヤル

～こころといのちのほっとライン～

- ・概要：専門資格と臨床経験がある専門性の高い相談員が、相談者の抱える自殺念慮の背景となる問題を傾聴しながら整理し、必要に応じて各種相談機関による支援に繋げる。
- ・主な対象：自殺念慮者
- ・実施時間：14時から翌朝6時まで（受付は5時半まで）、年中無休
- ・相談実績：22年度 4,747件、23年度 12,562件、24年度 15,683件
25年度 18,325件
- ・＜参考＞相談状況（平成25年度）18,325件
 - ・全体のうち 20歳代10.9%、30歳代21.7%、40歳代37.2%、50歳代19.6%、
 - ・希死念慮あり 18,325件中7,962件 43.4%
 - 7,962件の緊急性の状況
 - ・既に自殺を実行したもの 97件 1.2%
 - ・自傷他害行為をすぐに実行しようとしているもの 121件 1.5%
 - ・自傷他害の計画が明白で、近いうちに実行に移す可能性が高いもの 458件 5.8%
- ・他機関との連携 18,325件中1,322件（紹介先 1,542か所）
保健所、医療機関、女性相談、消費生活相談、就労・労働、警察・消防 等
- ・主な相談内容
 - 抑うつ・パニック発作など 3,261件
 - 家族 2,799件
 - 心配事 2,426件
 - 話したいだけ 2,356件
 - 希死念慮・自殺企図 2,052件 など

事後対応(三次予防)

自殺未遂者支援研修

- ・実施日、会場
平成26年10月9日（東京都健康プラザ ハイジア）
平成26年11月13日（東京都健康プラザ ハイジア）
- ・内容：東京都の自殺総合対策の取組（講義）
自殺未遂者対策はなぜ必要か（講義）
事例検討（グループ討議）
- ・講師：精神科医師、精神保健福祉士、事務職
- ・受講対象者：二次救急医療機関等のスタッフ
- ・受講者数：59人（ 25人、 34人）

自殺未遂者対応地域連携支援事業

～東京都こころといのちのサポートネット～

- ・概要：救急医療機関から自殺未遂者についての情報提供を受け、未遂者の状況やニーズを確認した上で、支援機関と調整を行い、地域の必要な支援に繋ぐ。
- ・主な対象：救急医療機関等で処置を受けて帰宅する軽傷の者等
- ・実施時間：9時から19時まで（受付は17時まで）、年中無休
- ・事業開始日：平成26年7月11日

遺族への情報提供

- ・リーフレット「大切な人を突然亡くされた方へ ～あなたはひとりではありません～」の配布
- ・提供情報：こころの悩み相談窓口、医療機関の情報、遺族の集い、悲しみの中でも必要な手続き、生活相談窓口
- ・配布場所：保健所、区市町村、監察医務院など

地域自殺対策緊急強化補助事業(平成21年度～26年度)

- ・区市町村の施策や民間団体の活動等の支援により、地域の自殺対策力を強化
- ・地域自殺対策緊急強化交付金（国）を受けて、東京都地域自殺対策緊急強化基金条例を制定（平成21年度）
- ・事業区分
対面型相談支援事業、 電話相談支援事業、 人材養成事業
普及啓発事業、 強化モデル事業
- ・補助率：10/10
- ・＜参考＞平成25年度補助実績（数）：区市町村 49、民間団体 17